

## 日立コンサルティング、パンデミック対応の新サービス 「BCP リソース・マネジメント」を発表 PDCA サイクルのマネジメントで BCM を国際標準レベルに

株式会社 日立コンサルティング(本社:東京都港区港南、代表取締役 取締役社長:ポール与那嶺)は、企業の事業継続計画(以下、BCP)の策定、運用において、立案した計画を実行に移し、さらにより良いものにしていくというPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルのマネジメントを適用し、国際標準レベルへ対応した事業継続マネジメント(以下、BCM)の実現を支援するサービス「BCP リソース・マネジメント」を立ち上げ、本日より提供を開始します。

日本ではこれまで、地震、台風といった自然災害への対策を想定したBCPの策定が行われてきました。最近では新型インフルエンザなどへの対策を背景に、人財マネジメントの視点からのBCP検討と具体的な運用が必須となってきています。しかし、海外では、策定したBCPをPDCAサイクルにより見直しつつ、社員への浸透を図り、より高度なBCMを実現することに注目が集まっています。そのため、PDCAサイクルによるマネジメントをベースに、英国が策定したBCM規格「BS25999」を中心としたBCMのISO規格化が、1~2年後に見込まれており、日本企業もその適用を想定した対応が必要となります。

日立コンサルティングが今回発表するサービス「BCP リソース・マネジメント」は、金融業・大手製造業を中心に20件以上の事業継続コンサルティングで蓄積したノウハウに基づき、BCMの実現を支援するものです。本サービスでは、BCPの策定や、PDCAサイクルを活用するためのコンサルテーションを行うほか、「BS25999」規格に準拠したツールなどを用い、事業継続に関わる全社情報の共有と円滑な更新を行えるようにするなど、策定した計画の実行、運用管理を一元的に実現できます。「BCP リソース・マネジメント」により策定されたBCMにより、円滑な人財マネジメントによる事業継続性の提供に止まらず、事業拡大などの経営資源の変化への即時の対応が可能になります。なお、本サービスは、3業界(金融、医療、製造)を中心に提供していき、本サービスを軸としたBCMおよびBCPビジネス全体でサービス初年度(2010年10月末まで)10億円の売上を目標にしています。

### 株式会社 日立コンサルティングについて

日立コンサルティングは、日立製作所のコンサルティング事業における中核会社として、日立グループと連携し、企業の経営課題に対し、経営戦略やマネジメント、業務を対象としたコンサルティング、および実行に不可欠なITサービスを提供しています。欧米の既存拠点はもとより、中国やインドなどアジアに展開する拠点をベースに、日本企業のグローバルなビジネス展開を支援してまいります。

<http://www.hitachiconsulting.co.jp/>

本件に関する報道関係お問い合わせ先  
日立コンサルティング 広報担当 (株式会社 コスモ・ピーアール)  
TEL:03-5561-2930  
大貫 武 / 長谷川 崇